

既卒看護師標準教育計画

目的・目標

2017.4

既に身につけている看護実践能力を基礎として、衣笠病院看護部の理念に沿った
看護師として活躍できるよう、知識・技術・態度を学び看護実践能力の向上を目指す。

月	目標	指導上の留意点	部署の教育	中央教育(看護部、法人)
入職時 2週間程度	<ul style="list-style-type: none"> ・衣笠病院の組織文化を理解し、自己の役割を考える ・自己のキャリアアンカーに応じた働き方を目指すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務に関係する部署を案内する。 ・看護師長が【職員ハンドブック】【医療安全ポケットマニュアル】等を用いて説明する ・プライベートとの調整(子供の病気や保育園との連絡等)気兼ねなく相談できることを伝える ・名前と顔が一致するよう職員自ら進んで自己紹介をする ・今までの業務内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・院内見学 各部署の役割位置を巡回と説明。職員紹介。部署の一日の流れの説明。物品の位置と用途の説明 ・看護師長から看護部の理念・方針の説明。 ・看護師長から所属部署の概要・機能・年度目標の説明。【新人技術チェックリスト】【JIBUNキャリア】【ウエルカムシート】を記入し、本人とチームリーダー、師長とで教育プログラムを組み立てる。可能な業務の確認 ・部署での必須教育項目は、電子カルテシステム・患者認証・医療安全・感染防止 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月入職時は就任式に出席し、衣笠病院創立の精神に触れる。・法人全体のオリエンテーションに参加できるよう勤務の配慮をする ・新採用者研修に参加 ・輸血・点滴・ME器械与薬・酸素吸入・褥創看護記録・電子カルテ医療安全・災害看護等 必要な研修に参加 ・看護部のラダーは、経験に応じて決定する。
2週間 1ヶ月程度	<ul style="list-style-type: none"> ・職場環境に慣れる ・看護システム 材料・機器等を理解することが出来る。 ・日常業務を理解する ・電子カルテで必要な情報が取れる ・看護記録が指導のもとできる ・夜勤業務を理解する ・危険予測ができる。 ・指導のもとインシデントレポートが書ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な業務から開始できる配慮をする。 ・体調を崩さないよう超過勤務はしないように業務を配分する。職場環境や業務内容の適応状況を確認する。 ・【ウエルカムシート】を1ヶ月を目安に活用する。 ・緊張感が緩和するように声掛けをする。 ・スタッフ全員で、楽しく働き易い職場環境を意識して調整をする。 ・理解度を確認しながら業務内容を拡大する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケア等全て初回は指導者人ともに行なう ・受け持ち患者を持ちながら業務・ケアの実施。 夜勤前又は1ヵ月後に必要に応じてチェックリストを記入し、チームリーダーと共にチェックする。 ・夜勤開始から2回は見習いとする(経験年数に応じて) 	<ul style="list-style-type: none"> 技術研修 点滴静脈注射 急変時の対応 死亡時の対応 ハイリスク薬品 麻薬の取扱い 必要な研修に参加
1ヶ月以降	<ul style="list-style-type: none"> ・患者のケア計画が立てられる。 ・他部門との連絡・相談ができる。 ・スキルに応じて必要時、後輩の指導ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠状態 体調を観察し声掛けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各科の特殊な検査や手術前後の患者の看護は、初回は指導者と共に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理研修 医療安全・感染研修等への参加 ・入職時期やラダーに合わせ研修参加をする